

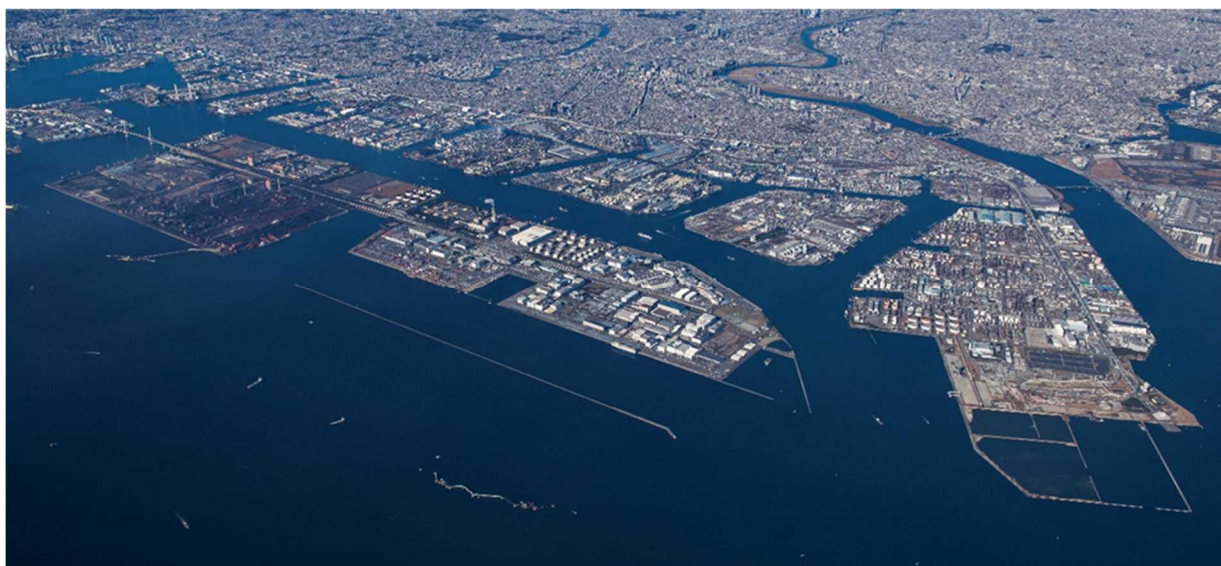
川崎市が川崎港 CNP トランジションファイナンス・フレームワーク(仮称)の 第三者評価機関に JCR を選定

株式会社日本格付研究所（JCR）は、川崎市が今後、川崎港港湾脱炭素化推進計画（CNP 形成計画）を基に策定する川崎港カーボンニュートラルポート・トランジションファイナンス・フレームワーク（CNP フレームワーク）の第三者評価機関に選定されました。JCR は、今後、CNP フレームワークの国際基準への適合性評価業務を、川崎市を始めとする CNP フレームワークに関与する金融機関、事業者等と連携を図りながら実施してまいります。

川崎港は、CNP 形成計画を 2023 年 9 月に策定し、2024 年 3 月に改訂を行っています。CNP 形成計画では、川崎臨海部の温室効果ガス削減目標（2030 年度 50%以上削減（2013 年度比）、2050 年実質ゼロ）及び水素等の供給目標（2050 年までの長期において、横浜及び羽田エリアも含め約 2,300t/日）を定めています。川崎港は、国際戦略港湾として東京港及び横浜港とともに京浜港を形成し、京浜工業地帯の中核を担う工業港で、国内最大級の水素の供給・需要ネットワークを活かし、水素を軸としたカーボンニュートラルなエネルギー拠点の形成、川崎臨海部の面的・効率的なカーボンニュートラル化を目指しております。

川崎市が策定する CNP フレームワークは、川崎臨海部に所在する事業者がグリーン／トランジションファイナンスで資金調達する際に活用してもらうことを企図しています。川崎市による CNP フレームワークの策定により、川崎港のカーボンニュートラルに資する企業投融資が促進され、川崎港の CNP 形成計画への賛同者の増加が期待されます。

JCR は、国内外の事業者等による 2050 年カーボンニュートラル達成に向けた取り組みを支援するため、公正・中立・専門性のある独立機関として第三者評価を提供することで、サステナブル・ファイナンス市場の健全な発展に引き続き貢献してまいります。



(川崎市提供資料より 川崎港全景)

【JCRのクライメート・トランジション・ファイナンスに関する取り組み】

JCRは、日本政府によるクライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック策定に専門家として参画して以来、一貫して企業の脱炭素の取り組みを評価機関の立場から支援してきました。2023年度には、経済産業省が募集を行った「令和5年度脱炭素成長型経済構造移行債に係る第三者評価事業（GX経済移行債に係る第三者評価の取得）」の事業者として選定され、第三者評価を提供しました。また、GX経済移行債第1回債について、トランジションファイナンスとしては世界初となるCBI※認証取得に貢献しました。

JCRは2017年のサステナブル・ファイナンス評価業務開始以来、ICMA（国際資本市場協会）、CBI、UNEP FI（国連環境計画金融イニシアティブ）等の国際イニシアティブに設置されている専門作業部会に積極的に参画し、グローバルに質の高い評価を提供しています。

※CBI（Climate Bond Initiative：気候ボンドイニシアチブ）

低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際的NPO。グリーンボンドに係る独自の基準であるCBS（Climate Bond Standard：気候ボンド基準）を策定している。

<本件に関するお問合せ先>

株式会社 日本格付研究所
サステナブル・ファイナンス評価本部 評価部
TEL：03-3544-7016（担当：梶原・新井・稲村・任田）

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル